

ふしぎな土の中

— A 表現 (2) —

～自由な発想を広げて絵に楽しく表現する～

広島市立東野小学校 青野 直子

1 日時・場所 ○月○日()、 2年3組教室

2 学年・学級 第2学年3組(男子16名 女子17名)

3 題材について

○児童観

本学級の児童は、想像を膨らませて絵をかくことに対して非常に意欲的である。以前に『不思議な種』という題材でも、種から膨らませた思いの絵をかいている。同時に絵から繰り広げられるお話を文章でも表すことができ、児童の豊かな発想に驚かされた。また、普段から絵を描くことの好きな児童が多く、時間があれば自由帳に絵をかいている姿が見られる。本題材も、楽しんで意欲的に取り組んでいけると考えた。

○題材観

本題材は、生活科で収穫した枝豆の根に注目して、土の中の世界はどうかを、楽しく想像して絵に表す題材である。枝豆は7月に収穫し、枝豆パーティーを開いている。9月になり、土の処理をした時に、植物の生長のために水や栄養を送っていた根の役割に注目した。見えない土の中で繰り広げられる未知の世界に児童の発想を広げ、表したいことを進んで見つけ、思いのままに自由に表すことができると考えた。

小さな種から自分たちで世話をして枝豆を収穫することを経験した児童は、続けて世話をする苦労や、土の中の根の役割を考えることで、見えない部分でも大事な役割があることに気づき、それぞれの思いを持って取り組んでいけると考えた。

○指導観

指導に当たっては、生活科の学習で育てた枝豆を通して、根の周りの見えない世界を想像できるように、たんぼぼの根や、大木の根など、枝豆以外の根の写真や絵を見せたり、根を掘り出した時の、土の中の様子を思い起こさせたりしたい。また、児童の想像する土の中のイメージを広げられるように、具材などの準備物を豊富に揃え、題名を『不思議な土の中』とすることで、児童の発想を、より膨らませたい。

技能面では、のびのびと表すために、大きな筆やローラーなどの使う方法も知らせたいと思う。さらに、児童の発想が自由に広がるように、色々な色や形の画用紙を用意したい。

かくことへの抵抗感や自信のない児童には、側で励まし認めることで自信をつけるようにしてやりたい。また、お互いの作品を見合うことで、友達の作品の良いところに気づき、自分の作品の中にも自分らしさを認められるようになってほしい。

4 題材の目標

自由な発想で、自分の思いを絵に楽しく表す。

5 題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準

	ア 関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
題材の評価規準	自分の考えた土の中のイメージを創造して絵に表す楽しさを味わう。	枝豆を育てた土の中の根の世界に思いを広げる。	自分の感じた色や具材を使って、絵に工夫して表わす。	絵に表した思いや工夫したことを、友達と話したり、友達の話を聞いたりする。
学習活動における具体的評価規準	① 栄養や、水を送っていた根の様子（陰の力）を想像して、活動する。	① 見えない土の中で一生懸命に枝豆を守っていた根の様子に思いを広げ、未知の世界を想像する。	① 自分の思いに合わせて、絵の具やパスや、紙粘土などの表現方法を選び、その特徴を生かして工夫する。	① 絵に表した思いや工夫したことを友達に話したり、友達の話を聞いたりする。

6 指導と評価の計画（全 5 時間）

時間	学習活動	学習活動における具体的評価規準等	
		観点・評価規準 評価方法	努力を要する状況への手だて
第一次 （4時間） （本時1時間）	・土の中の不思議な世界を想像して、自由に絵にかく。	・土の中の不思議な世界を自由な発想で膨らませることができる。 アー① 活動の様子の観察 イー① 活動の様子の観察 ・自分の思いに合わせた具材を選び、その特徴を生かして工夫することができる。 ウー① 活動の様子の観察	・不思議な種の学習を想起させる。 ・思いを引き出せるように言葉をかける。 ・何度も試せるように、画用紙を多めに用意する。
第二次 （1時間）	・自分の作品に対する思いや工夫したことを書き、友達に話したり、友達の話を聞いたりする。	エー① ・自分の絵に表した思いや工夫したことを、友達に伝えたり、聞いたりすることができる。 活動の様子の観察	・自分の作品に書きたかったことや、工夫したかったことを、側で寄り添って引き出させる。

7 学習計画（全5時間）

- (1) 第1次 自分なりの方法で、自由に絵で表す。（4時間）
 (2) 第2次 絵を見せ合って、良さや工夫をつたえる。（1時間）

8 本時の目標

- （図画工作） 土の中を自由に想像し、表現に適した具材を選び表し方を工夫する。

9 準備物

- （指導者） 様々な形や色の画用紙。平筆。ローラー。紙粘土。毛糸。など
 （児童） 絵の具。パス。はさみ。のり。新聞紙。など

10 本時の展開

学習活動	教師の支援	評価規準・評価方法
1 土の中の世界を空想できるようなお話を聞かせる。	・学年の畑や、普段の生活の中で触れる土のことを思い出すような声掛けをする。	・土の中の不思議な世界を想像して、活動する。 アー①
2 本時のめあてや、学習内容をつかむ。	・自分の思うままにかいていいことを伝える。	児童の様子を観察
土の中を想像して絵にしてあらわそう！		
3 自分の表したいことにあった、画材を選び、思いのままにかく。	・思いに合う表現方法を選べるように、様々な大きさや形の画用紙や用具を用意する。 ・なかなかかき出せない児童に対しては、方法を伝えたり、試したりさせる。 ・自信を持って活動できるように、一人一人の良さを、しっかり認めていく。	・自分の思いに合わせて、絵の具やパスなどの表現方法を選び、その特徴を生かして、工夫して表わす。 イー① 児童の様子を観察 ウー① 児童の様子を観察
4 片付けをする。		
5 次時の活動について知る。	・本時の個々の活動を把握し、時次の活動につなげる。	